

教員紹介

マークの説明

歴 主な経歴 研 現在の主たる研究領域・テーマ

修 学位論文の主旨導ができる教員

修士論文の指導については、学生の研究内容により主旨導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

金河守

修

KIM, Hasoo

教授・専攻主任 文学博士

歴 筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程単位取得満期退学。日本大学講師等を経て現・目白大学外国語学部韓国語学科教授

研 韓国語と日本語の対照言語学に関心があり、両言語の本質的な側面を明らかにしようとしている。また、日本における韓国語教育の分野にも目を向けて研究を行っている。

鏡屋一

修

ABUMIYA, Hajime

教授 国際学修士、博士(文学)

歴 東京外国語大学卒業、筑波大学大学院地域研究研究科修士、同歴史・人類学研究科単位取得満期退学。目白大学外国語学部長、副学長等を経て現職

研 東洋史学、特に近現代中国政治史を専攻している。政治学と歴史学とが接する領域の研究を行っている。議会政治、孔教会、文革と中国研究、現代における伝統文化の再創造など、社会倫理と政治統合の関係について調査している。

小林寛

修

KOBAYASHI, Hiroshi

教授 文学博士

歴 筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科修士。目白大学人文学部、目白大学大学院国際交流研究科等を経て現職

研 西洋世界との接触による東アジアの伝統思想の変容を明らかにしようとし、近年は近代の東アジアの儒教の変容と宗教文化との関係を究明している。

金敬鎬

修

KIM, Kyungho

教授 博士(文学)

歴 韓国中央大学校文理科大学卒業、専修大学大学院文学研究科博士課程修了。NHK文化センター講師、韓国湖南大学校日本語学科副教授等を経て現職

研 最近、主に問題意識を持っている分野は「日本における韓国語のカタカナ表記の問題」、[日本語と韓国語の翻訳の実態や問題]、[歴史的な研究としては「外国人人名の漢字表記」、[中世の文献における韓国語の日本語表記]などである。

氷野善寛

HINO, Yoshihiro

教授 博士(文化交渉学)

歴 関西大学大学院文学研究科中国文学専攻博士後期課程単位取得満期退学。関西大学アジア文化研究センターPD等を経て現・目白大学中国語学科教授、中国語学科長

研 ①中国語教育及び教育史の研究②AIやICTを活用した中国語教育の研究③中国語学④中華圏のサブカルチャーの研究

徐寅錫

SEO, Inseok

教授 博士(文学)

歴 新潟大学大学院現代社会文化研究科修士。蔚山大学校国際交流院教授等を経て現・目白大学外国語学部韓国語学科教授

研 韓日文学の対比研究、韓国語教育に関する研究に関心を持っている。最近では、韓国文学や韓国文化を活用した韓国語教育について研究を行っている。

曹永宝

CHO, Youngbo

専任講師 博士(文学)

歴 漢陽大学校国際教育院講師、目白大学外国語学部韓国語学科専任講師

研 韓国語と日本語の対照研究、韓国語文法の談話機能に関する研究、韓国語誤用に関する研究。

教員紹介 検索ページ

著書・論文歴、所属学会、学会発表など教員についての詳細は、こちらをご参照ください。

本学公式サイト
「教員紹介 検索ページ」はこちら▶

